



教職員視察バス研修

7月28日(木)、いの町内を巡る教職員視察バス研修を行いました。希望者と若年教職員を合わせて、様々な校種の先生が30名参加してくださいました。

本川地区



(神楽の演目をする長沢小の子どもたち)

伊野公民館を出発して、一同はバスで本川地区へ。本川では、まず新郷土資料館を見学しました。本川教育事務所の大野さんの解説を聞きながら、館内の貴重な資料を見ることができました。次に、プラチナセンターで長沢小学校の児童に本川神楽の舞を見せてもらい、青地三男さんに本川神楽について講演をしていただきました。



(新郷土館の貴重な資料)



(資料の説明をする大野さん)



(神楽について語る青地さん)

吾北地区

吾北地区では、仁淀ブルーの代名詞ともいえる「にご淵」を見学しました。険しい階段を下りていくと、美しい滝つぼにたどり着きました。観光客に人気のスポットですが、普段はなかなか立ち寄れないので、貴重な経験になったのではないのでしょうか。



(光がさして、滝つぼが幻想的な青に)

八田堰他



(行当の切り抜きの記念碑)



(当時の苦勞を感じる)

小学校社会科副読本「いののくらし」にも掲載されている野中兼山の開発した八田堰と用水路等を見学しました。

伊野地区

伊野地区では、いの町が誇る紙の博物館を見学しました。平尾里枝美館長に、紙にまつわるいの町の歴史を解説していただきました。また、紙すき体験も行いました。参加者の皆さんは真剣な表情で紙をすいていました。



(体験中の参加者)



(解説する平尾館長:中央)



(職人の技も拝見)

Thank you

写真協力:杉本 春菜 主幹(枝川小)

参加者の感想(抜粋)

- 普段はなかなかご一緒することのない学校の先生方と交流できて、いの町の教員の輪にやっと参加できた感じがしました。
- 研修全体を通していの町について知らないことを知れたので価値のある研修だと思いました。
- いの町の観光資源や特産品、郷土史料について実際に見たり説明を聞いたりできる機会は貴重で、大変ありがたかった。
- 地域の人々の営みを授業へ活かすなら、にこ淵は紹介くらいでよかったです。枝川方面に行くのもありかと思えます。
- 今年度よりいの町に赴任して、知らないことだらけだったので少しは知識としてのいの町の良さがインプットされました。地元を愛する子どもの育成を目指したいと強く思いました。
- 町内の学校の前を通過するだけでいいので、学校の位置が分かると良いと思いました。役場や議場も見学したいです。

研究所より

今年も無事視察バス研修を開催することができました。日々研修があることと存じますが、多くの先生に参加いただき、大変うれしく思います。例年は吾北地区の見学をゆっくり行うのですが、今回は健康診断の日程と重なり、内容が不十分なところもあったかと思えます。しかし、アンケートの自由記述欄からは「いの町について新発見」「他校の先生と交流できた」と、たくさんの方が書いてくださいました。教育研究所としても、地域を知り、人とつながることの大切さを改めて感じました。今年参加できなかった方はぜひ来年お会いしましょう！

いの町教育研究所

TEL;088-893-1922(いの町教育委員会内) 088-893-0255(資料センター)